



# 令和6年度 園だより 1月号

R7.1.1 認定こども園 敬愛短期大学附属幼稚園



新年あけましておめでとうございます。今年は何年です。へびは昔から再生・永遠の象徴と言われてきました。皮を脱ぎ捨てて新たな姿に生まれ変わる姿から新しい挑戦や変化に対して前向きな姿を示すとよい1年が送れるということです。

3学期は幼稚園生活1年のまとめとなる学期です。入園進級したころより子どもたちは大きく成長しましたね。子どもたち一人一人の成長のスピードは様々で、お子さんによってはその成長がゆっくりで心配になることもあるかと思いますが、焦りは禁物です。できないことに眼を向けるのではなく、できることを最大限に認めてあげることが子どもにとっての喜びであり励みになります。

脳科学者の西剛志先生は次のように話しています。

褒めることは大切ですが、褒め方が重要です。努力を褒められると人はもっと努力したくなる生き物なのです。「能力を褒めるのではなく、努力を褒める」このことを覚えておくと、子どもはどんどん難しい問題にチャレンジして大人になってからも新しいことに挑戦して、あらゆる困難を乗り越えて行く人になっていくでしょう。

私たち大人が子どものあるがままの姿を受け止め、少しでも頑張っていることがあれば、できないに関わらず、「よく頑張ったね」「すごいことだよ」と認めて褒めてあげましょう。それが、お子さんが新たなチャレンジをするきっかけとなり、次のステップにつながることは間違いありません。

子どもたちにとって良い一年となりますよう職員一同精一杯努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

園長 和田 由美

	今月のねらい	今月のうた
年少	<ul style="list-style-type: none"> <li>園生活のリズムを取り戻し、安心して過ごす</li> <li>遊びを通して友だちとのかわりを楽しむ</li> </ul>	コンコンクシャンのうた 幸せなら手をたたこう
年中	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康を意識して、寒い冬を元気に過ごす</li> <li>いろいろな友だちとルールのある遊びを楽しみ、遊びを広げようとする</li> </ul>	コンコンクシャンのうた うちゅうせんのうた
年長	<ul style="list-style-type: none"> <li>めあてにむかって繰り返し取り組み、できた喜びや達成感を感じる</li> <li>冬の季節や行事に関心をもつ</li> </ul>	コンコンクシャンのうた 小さな世界



こどもの姿から・・・ 発表会を終えた年長さんが、毛糸のマフラーづくりにはまっています。とても集中力がある作業ですが、友だちと一緒に真剣に作業しています。日当たりのよい廊下にイスを並べて編んでいる姿は、なんともほほえましく、聞けば年中の時からずっとやりたいと思っていたというのです。年少・年中さんがその姿を珍しそうに眺めていて、遊びはつながっていると感じます♥